

6月 (定例)・臨時 教育委員会会議録

日 時	平成29年6月20日(月) 午前10時00分から
場 所	山梨市役所 3階 応接室
出席委員名	市川今朝則・林正文・三森智文・幡野勝彦・廣瀬孝子
出 席 事務局員名	角田弘樹、望月好也、高原歳徳、倉田憲一
委員会書記	小林徹

議題及び議事の概要

○議事

(1) 山梨市・山梨市教育委員会とフードバンク山梨との連携協定について
 教育長) 山梨市・山梨市教育委員会とフードバンク山梨との連携協定を締結した。夏休み中は給食がないので、準要保護世帯で希望する家庭にチラシを配布し、家庭が直接フードバンク山梨に申し込む。

(2) やまなし子ども生活アンケートについて
 教育長) やまなし子どもの貧困対策推進会議を県が立ち上げ、子どもの実態を把握するため、県下においてアンケートを実施する。対象者は小学校1年生、5年生、中学2年生の児童生徒の10%の保護者。並びに小学校5年生、中学校2年生の10%の児童生徒。

委員) 調査結果については、どのようになるのか。
 教育長) 具体的には聞いていないが、当然結果については各市町村等に公表されるのではないかと。

事務局) 10月上旬に中間報告、3月上旬最終報告となっているので、遅くも3月にはきちんとした報告がされるものと思われる。

(3) 6月議会について
 教育長) 6月15日に代表質問、6月16日に一般質問が行われた。教育委員会関係の質問、答弁を別紙のとおりまとめた。

委員) ICT教育整備に関して、平成32年度までに9校とのことだが、すべての小中学校に導入するという認識でよいか。

教育長) 研究校として先行して笛川小と笛川中に導入するので、すべての小中学校への導入となる。

委員) オリンピック事前誘致について、練習期間や人数、宿泊、整備費用等について。
 生涯学習課長) 選手の選考自体がオリンピックの前になるので、はっきりしたことは言

えないが、4～5人ではないか。期間については決まっていない。整備された時点で視察をしたいとのことなので、1年前には整備を終わらせたい。予算の確保が条件だが、増改築により対応、オリンピック後はトレーニングルーム等で活用したい。オリンピック関係の補助金はないので、他補助金についても検討する。ホテルについてはフルーツパーク富士屋ホテルで検討。

(4) 学力向上フォローアップ事業について

事務局) 学力向上フォローアップ事業を今年度も小学校3年生から6年生を対象にして実施する。前年度、公民館によって午前、午後で人数の偏りがみられたので、実績に基づき午前、午後実施の調整を行った。

委員) 昨年度の利用実績はどうか。

事務局) 延べ1,000人以上に利用していただいた。

委員) 夏休みに回数を増やしてはどうか。

事務局) 全体の事業費を考え、均等に日程を配置した。

(5) 山梨県学力把握調査の結果について

教育長) 県が行う学力把握調査を小学校3年、5年、中学校2年が実施しており、県と市の比較を資料に基づき説明。県平均との比較ではほとんどの教科で上回っているが、全国学力・学習調査の結果が今後公表されるので、結果を注視したい。

(6) その他

学校教育課長) 以前の教育委員会において委員から依頼のあった、市内から私立の小中学校に通っている人数について、資料に基づき説明。

委員) 私立の学校に通う人数が増加傾向ではないようですね。

学校教育課長) このデータを見る限り、増加・減少傾向は見られなく、おおよそ一定数にて推移している。

次回 7月18日(火) 10時から

議決事項

その他、会議において必要と認めた事項

